



さ  
座間音頭

おどつて市民の

和を広げ

座間音頭

星が見えます

ちらりとひとつ (サツサネ)

ではじまる座間音頭、市内各地域で盆踊りや運動会、そのほかいろいろな機会に歌われ、踊られています。

せりが一面にはえる芹沢、時を知らせる宗仲寺の鐘、農作業のようすなど、座間のおだやかなころを歌いあげています。作詞は鈴木英夫先生、作曲は関頼政先生で、昭和三十年に発表されました。

さ